# レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式１

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名） | SNS等を活用した感染症検査受付による利便性向上（肝炎・エイズ・梅毒相談検査事業） | | | 部（局） | 保健医療部 |
| | | | | 所管課 | 疾病対策課 |
| | | | | 担当班 | 感染症対策推進班 |
| | | | | 連絡先 | 078－362-3213 |
| 開始年度 | 平成５年度 | 終了年度 | | 関連計画等 | 感染症予防計画 |
| 事業区分 | ☑ 国補助事業　□ 県単独事業 | | | | |
| 実施方法 | ☑ 直執行　□ 委託　□ 補助　□ その他（　　） | | | 実施主体等 | 県（健康福祉事務所） |
| 事業目的 | HIV感染者の届出については全国的に減少～横ばい傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症に伴う検査機会の減少等の影響で検査件数が減少しており、感染者のスクリーニングが十分にできていない可能性が指摘されている。<br>本県のエイズ患者・HIV感染者は平成25年の53人をピークに減少傾向が見られていたものの、全国同様、30から40人程で推移した横ばい状況にある。また、梅毒については、県、全国でも患者届出数が右肩上がりとなっており、特に発生動向に注視が必要な状況である。<br>このため、HIV、肝炎ウイルスや梅毒の感染を早期発見し、早期治療につなげることが感染拡大の防止に有効であることから、県民が当該検査を受けやすい体制をつくる。 | | | | |
| 事業概要 | 県下、12健康福祉事務所において、エイズ、肝炎、梅毒の感染を心配する県民に対し、相談及び感染の有無を判別する無料匿名検査を実施。（証明書の交付を希望する者は、記名有料） | | | | |
| 業務フロー | ①感染の不安を抱える県民→②電話相談→③検査予約→④検査→⑤陰性→⑥保健指導<br>↳③不安解消　↳⑤陽性→⑥ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ→医療機関紹介（エイズのみ） | | | | |
| R5レビュー時の外部委員会意見 | ・SNS上でのログは全て残るので、若い世代はSNSから申込みはしないのではないか。電話での窓口を残すことは重要<br>・プロモーションはSNS上で行うなど、想定するターゲットに合った手法を検討すべき。<br>・検査実施率はアウトカム指標とすべき。<br>・検査実施率を高めるために何が有効かをアンケート調査してはどうか。例えば、アンケート調査で検査に来た理由としてSNSを選択した割合をアウトカム指標としてはどうか。 | | | | |
| 改善結果（改善状況 取組過程） | ・令和７年７月から、スマートフォン等で利用可能なオンライン申込サイトを新設し、予約方法の簡便化。高齢者等に配慮した電話予約も併用<br>・世界エイズデー（12月１日）に合わせ、SNS等を活用したインターネット広告を実施<br>・オンライン申込の迅速性を活用し、予約状況を見える化 | | | | |

事業に要するコスト

| 区分 | | | ５年度決算額 | ６年度決算額 | ７年度当初予算額 | ８年度当初予算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費① | | | 831 千円 | 2,786 千円 | 2,509 千円 | 2,241 千円 |
| 経費内訳 | 報酬・賃金 | | | | | |
| | 委託料 | | 304 千円 | 2,009 千円 | 1,712 千円 | 1,444 千円 |
| | 補助金・交付金 | | | | | |
| | 貸付金 | | | | | |
| | その他 | | 527 千円 | 777 千円 | 797 千円 | 797 千円 |
| （財源内訳） | (国庫) | | (390千円) | (1,352千円) | (1,213千円) | (1,079千円) |
| | (特定) | | (51千円) | (82千円) | (82千円) | (82千円) |
| | (起債) | | | | | |
| | (一般財源) | | (390千円) | (1,352千円) | (1,214千円) | (1,080千円) |
| 予算額②<br>※精算補正前の予算を記載 | | | 831 千円 | 2,786 千円 | 2,509 千円 | 2,241 千円 |
| 執行率((①/②)×100) | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 人件費③（a＋b＋c） | | | 従事人員 1.2人 | 従事人員 1.2人 | 従事人員 1.2人 | 従事人員 1.2人 |
| | | | 9,900 千円 | 10,343 千円 | 10,797 千円 | 11,326 千円 |
| | 職員給与費 | a | 8,587 千円 | 8,867 千円 | 9,484 千円 | 9,850 千円 |
| | 賞与引当金繰入額 | b | 713 千円 | 749 千円 | 713 千円 | 749 千円 |
| | 退職手当引当金繰入額 | c | 600 千円 | 727 千円 | 600 千円 | 727 千円 |
| 総コスト(①＋③) | | | 10,731 千円 | 13,129 千円 | 13,306 千円 | 13,567 千円 |

# レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式１

| 評価指標 | 指標名 | 区　分 | ５年度実績 | ６年度実績 | ７年度見込 | ８年度目標 | 最終目標【年度】 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価指標 | 成果指標（アウトカム指標①）<br>「いきなりエイズ率（%）」<br>＝AIDS新規報告数÷<br>（AIDS新規報告数＋HIV新規報告数）<br>☆コロナ影響もあるため、当面、全国平均値以下とし、2030年度20%以下を目標。 | 目　標 | 30.3 | 30.4 | 29.9 | ※ | 20%以下 |
| | | 実績（見込） | 40 | 40.7 | 41.6 | | 【令和12年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | （268 千円） | （323 千円） | （320 千円） | -- | |
| | | 達成率（見込） | 75.8% | 74.7% | 71.9% | -- | |
| | 成果指標（アウトカム指標②）<br>「検査実施率（%）」<br>＝検査実績÷検査可能件数 | 目　標 | 65 | 65 | 70 | 75 | 80% |
| | | 実績（見込） | 37.9 | 34.2 | 31.7 | | 【令和８年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | （283 千円） | （384 千円） | （420 千円） | -- | |
| | | 達成率（見込） | 58.3% | 52.6% | （45.3%） | （0.0%） | |
| | 成果指標（アウトカム指標③）<br>オンラインでの申し込み率（%） | 目　標 | | | 60 | 70 | 70%以上 |
| | | 実績（見込） | | | 48.5 | | 【令和８年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | -- | -- | （274 千円） | -- | |
| | | 達成率（見込） | -- | -- | （80.8%） | （0.0%） | |
| | 活動指標（アウトプット指標①）<br>SNS等による広報実施媒体数 | 目　標 | | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | 実績（見込） | | 5 | （8） | （8） | 【令和８年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | -- | （2,626 千円） | （1,663 千円） | （1,696 千円） | |
| | | 達成率（見込） | -- | 100.0% | （160.0%） | （160.0%） | |
| | 活動指標（アウトプット指標②） | 目　標 | | | | | |
| | | 実績（見込） | | | | | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | -- | -- | -- | -- | |
| | | 達成率（見込） | -- | -- | -- | -- | |
| | 活動指標（アウトプット指標③） | 目　標 | | | | | |
| | | 実績（見込） | | | | | 【年度】 |
| | | （単位当たりコスト） | -- | -- | -- | -- | |
| | | 達成率（見込） | -- | -- | -- | -- | |
| 標 | 終期設定 | 有（　　）・無 | | | | | |
| | 改善基準 | | | | | | |

| 自己評価 | 評価の視点 | 評価 | 目標に対する達成状況（総合的評価） | |
|---|---|---|---|---|
| | ○有効性（評価指標に対する実績）<br>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か<br>・民間での事業実施は見込めない事業か<br>・指標・目標設定は適切か<br>・活動実績は十分か<br>・想定された成果を達成しているか　など | ・いきなりエイズ率の低下に至っていないこと、梅毒の患者届出数が増加傾向にあることから、無料検査の継続が必要。 | C：やや満足のいかない実施状況 | 令和5年度から検査枠をコロナ前並みに戻したことに加え、オンライン予約システムの整備に時間を要し、実施が令和7年度中となったため、同年度内の目標達成には至らなかった。 |
| | ○効率性（最小のコストで最大の効果）<br>・業務改革に取り組んでいるか<br>・コスト削減の工夫を行っているか<br>・ICTや民間活力は活用しているか<br>・受益者負担は適正か<br>・財源確保の工夫は行っているか　など | ・若者をターゲットとしたSNSによる広報活動の実施<br>・オンラインを活用した相談や予約方法を周知 | | |

**課題・今後の方向性**

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明
- ・SNS等を活用し、疾患に関する知識の普及啓発をさらに推進するとともに、オンラインでの検査予約についても周知を強化する。
- ・また、来所での検査に抵抗がある方にも受検機会を広げるため、新たに郵送検査の導入を検討する。

**外部委員会意見**

・オンライン予約システムの導入やSNSを活用した広報強化など、利便性向上策に着実に取り組んでいる点は評価できる。
・一方で、検査実施率や「いきなりエイズ率」は改善しておらず、事業目的である早期発見・早期受検の促進に十分な成果が現れているとは言い難い。
・今後は、SNS広報やオンライン予約が受検行動にどの程度結び付いているかを検証するとともに、郵送検査の導入等も含め、受検者増加につながる取組を強化することも求められる。
・全国的に梅毒が若年層の女性に急増しているという事から、大学や公共施設において、感染経路や症状、妊娠への影響等の知識に係る広報を拡充することが期待される。